

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 龍心会

1. 法人の概要

(1) 経営理念 「思いやりの心」

(2) 経営思想

- 一、真心こめた丁寧な福祉サービスをめざします。
- 一、ご利用者・ご家族様との信頼関係を大切にします。
- 一、地域から選ばれる施設、必要とされる施設をめざします。
- 一、幼老交流を通じた個人の尊厳の維持と、心身の健やかな育成をめざします。
- 一、仕事を通じた職員の自己実現をめざします。

(3) 施設運営

- 1) 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済が急速に収縮傾向にある中、当法人の本体事業もご利用者の減少、感染拡大防止対策にかかる想定外の費用の増加により、法人運営を圧迫する事態となった。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、迅速かつ的確な蔓延防止に努めた。
- 3) 法改正に伴う就業規則の改定を随時実施（有期雇用契約者の無期転換変更権、有給休暇の取得時季指定権など）。

(4) 人事管理

- 1) 職員からの声（職員同士の苦言・苦情、サービス提供に関すること等）に耳を傾け、働きやすい職場環境の形成に努めたが、様々な理由で離職者の多い年度となった。
- 2) 職員間の公平性（夏冬休暇・有給休暇の取得数、超過勤務数等）、及び勤務意欲が保たれるよう、法に準拠した労務管理に努めたが、取得者と取得しない人との差は依然大きく、結果、公平とはいかない。
- 3) 積極的な求人活動を展開することにより、退職による介護力及び看護力並びに保育力の低下が伴わないよう努めたが、新型コロナウイルスの影響もあり、全国的にも不足している介護職員の確保が一層困難となっている。
- 4) いったん退職した者が復職するケースが多いのがハートヴィルツェ及びエンジェルハートに共通する特徴の一つ。働きやすい環境の形成に努め、外部流出を防ぐ事も必要である。

(5) その他

- 1) 改正社会福祉法に則し、公益性・非営利性の確保、事業運営の透明化を図り、今後も継続して行う。
- 2) 連携強化により、「思いやりの心」の経営理念に基づく経営思想の実現を図り、今後も幼老交流に注力したい。
- 3) 委員会・会議を充実させることにより、リスク管理や虐待防止、褥瘡予防、感染予防その他のサービス向上などについて積極的に取り組むことができた。
- 4) 専門職としてのスキルアップの為、千葉県、印西市、社協や提携・近隣医療機関・施設で開催する研修会には積極的に参加し、また各種委員会・会議等を活用し、参加した職員のみならず、他の職員への報告・連絡等を行なうことにより施設全体の共通認識として役立たせる体制を今後も継続する。

2. 役員会等の開催状況

(1) 理事会

- 1) R2.5.26 (火) / 書面決議事項提案日
第1回理事会 理事6名/監事2名 提案書送付
理事会の決議があったものとみなされた日 R2.6.5 (金)
決議事項：①令和元年度事業報告 ②令和元年度決算報告 ③監事監査報告
④理事長/職務執行状況報告 ⑤修繕積立資産の件 ⑥その他報告事項 (1) 令和元年度寄附金収入実績報告書 (2) 法人公用車自動車保険更新の件 ⑦職員昇給の件 ⑧定時評議員会の開催及び議案の件
- 2) R2.11.20 (金) 第2回理事会 理事5名/監事2名出席
①令和2年度上期中間決算報告 ②令和2年度第1次補正予算 ③理事長/職務執行状況報告 ④非常灯誘導灯更新工事の件 ⑤法人公用車(送迎用福祉士車輜)購入の件 ⑥加湿空気清浄機購入の件 ⑦職員昇給の件 ⑧その他の報告事項(デイサービスセンター新型コロナウイルス感染拡大防止の為の臨時休業の件)
- 3) R3.3.19 (金) 第3回理事会 理事5名/監事2名出席
①令和2年度第2次補正予算の件 ②令和3年度当初予算の件 ③令和3年度事業計画の件 ④理事長/職務執行状況報告 ⑤法人公用車(送迎用福祉士車輜)購入の件 ⑥職員昇給の件 ⑦その他の報告事項 (1) 令和2年度千葉県新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金について (2) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)について (3) 経理規程の一部変更について

(2) 評議員会

- 1) R2.6.6 (土) / 書面決議事項提案日

令和2年度定時評議員会 評議員7名 提案書送付

評議員会の決議があったものとみなされた日 R2.6.22(月)

決議事項：①令和元年度事業報告 ②令和元年度決算報告 ③監事監査報告

3. 各種許認可・申請・届出関係

- (1) 介護職員等特定処遇改善加算交付申請 (R2.4.10/県・市)
- (2) 障害者雇用納付金申告書 (R2.5.7/(独)高齢・障害・求職者支援機構)
- (3) 自家用有償旅客運送輸送実績報告書 (R2.5.8/関東運輸局)
- (4) 事業系一般廃棄物減量計画書 (R2.6.1/市)
- (5) 社会福祉法人現況報告 (R2.6.26/市)
- (6) 財務諸表報告シート・事業報告書・施設状況票 (R2.6.26/福祉医療機構)
- (7) 資産変更登記 (R2.6.29/千葉地方法務局)
- (8) 高齢者および障害者雇用状況報告 (R2.7.8/千葉労働局)
- (9) 雇用調整助成金支給申請書 (R2.8.19、R3.3.26/千葉労働局)
- (10) 介護職員処遇改善実績報告書 (R2.7.27/県・市)
- (11) 医療資格者の届出 (R2.12.17/印旛保健所)
- (12) 医療機能情報提供制度に係る定期報告 (R2.12.17/県)
- (13) 通所介護事業定員変更届 (33名から25名へ変更/R3.1.25/県)
- (14) 通所介護事業所/介護予防・日常生活支援総合事業変更届
(33名から25名へ変更/R3.1.25/市)

4. 事業毎の概況 (ハートヴィレッチ)

- | |
|---|
| (1) 特別養護老人ホーム ハートヴィレッチ
特別養護老人ホーム ハートヴィレッチⅡ |
|---|

1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った安心感と信頼感のある介護サービスの提供を常に心掛けた。

2) 主な取り組み

- ①新型コロナウイルス等感染症対策を積極的に行い、面会制限が徹底されている環境においてご利用者のご家族に対し、オンライン面会を実施するなど利便性に努めた反面、例年地域貢献とサービス向上を目的に、介護実習やボランティアの受入を行っていたが、感染症の蔓延防止のため自粛となった。
- ②介護ニーズの把握と的確な対応に努めた。
- ③栄養管理、衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実の為に、カンファレンスや委員会、会議等の充実に努めた。

④充実した生活の確保と保証を行うべく、感染症の蔓延防止対策を考慮しながらレクリエーション等の企画と運営に努めた。

3) 健康管理・衛生管理

①職員の健康管理、施設内の環境整備、マスク着用義務の強化、及び徹底した面会制限等により、新型コロナウイルス及びインフルエンザ[※]等の施設内蔓延予防に努めた。

②協力医療機関（北総白井病院・島田台総合病院）、及びその他近隣医療機関との連携の強化により、ご利用者・ご家族に安心していただける健康管理体制を構築した。

③ご利用者、及び職員の定期健康診断の実施により、健康状態の把握、疾病の早期発見、予防の為の措置を取った。

4) その他

年間平均稼働率83.4%、昨年度に比べ6.4ポイント減。短期入所との合算による加重平均稼働率については81.6%と昨年度より8.5ポイント減となり、コロナ禍において稼働率が低迷。今後一層の努力が必要。

(2) 短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ 介護予防短期入所生活介護事業所 ハートヴィレッチ

1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った丁寧で満足、納得の得られる介護サービスを提供し、繰り返しご利用いただけるよう真心を込めたサービスを心掛けた。

2) 主な取り組み

①新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、施設内の環境整備はもとより、ご利用者の健康面を十分把握し対応に努めた。

②自立的な日常支援と、心身の機能の維持、並びに身体的、精神的負担の軽減に努めた。

③家族及び介護支援専門員との関係を密接にすることにより、利用者の心身の状況、その置かれている環境や保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めた。

④健康管理・衛生管理及びリスクマネジメント対策の充実に努めた。

⑤苦情処理体制の強化、並びにフォローアップ体制の充実に努めた。

⑥稼働率向上に向けた地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への渉外活動を積極的に展開した。

3) その他

年間平均稼働率61.2%と昨年度に比べ37.7ポイント減と新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で短期入所のご利用者を控えた影響もあり、大幅減となった。

(3) **通所介護事業所 ハートヴィレッチ**
介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿った「地域に根ざしたデイサービス」の確立を目指し、ご利用者、ご家族、及び地域ケアマネージャーとの信頼関係の構築に努めた。
- 2) 主な取り組み
 - ①新型コロナウイルス等感染症対策を積極的に行い、送迎業務においても車輛の消毒や換気等により3密（密閉、密集、密接）を避けるよう努めた。
 - ②介護ニーズの把握と的確な対応に努めた。
 - ③個別性の高い介護（支援）サービスによる、五感で楽しめるサービスの充実に努めた。（機能訓練・レクリエーション・コミュニケーション・喫茶・食事作り、等）
 - ④地域貢献（職場体験の受入、キャラバンメイト・認知症サポーター養成講座、近隣中学校への出張講義等）への参加・協力を積極的に行った。
 - ⑤個別機能訓練の充実に努め、機能改善及び機能減退防止に積極的に取り組んだ。
 - ⑥地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所との連携を強化し、稼働率の向上に努力した。
- 3) 食事レク・おやつ作り
例年、他事業所との差別化戦略として、食事レク・おやつ作りには趣向を凝らし、ご利用者に好評を得ていたが、新型コロナウイルス等感染拡大防止策により、以下の食事レクのみ実施した。

月	食事レク
12月	中華定食

- 4) その他
年間平均稼働率 39.4%。昨年度に比べ 49 ポイント減少。令和 2 年度は 4 月にご利用者が新型コロナウイルスに感染し、感染拡大を防ぐため、自主的にサービスを休止したことや、利用人数を制限して”三密”を防止する措置を行ったことから、稼働率は大幅に減少した。

(4) **居宅介護支援事業所 ハートヴィレッチ**

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念に沿い、ご利用者・ご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援を積極的に行った。

2) 主な取り組み

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、職員の体調管理およびご利用者の健康面を十分把握して対応する。
- ②専門職としてのスキルアップの為、アセスメント・モチベーション（ご利用者理解）の質の向上に積極的に取り組んだ。
- ③外部（他事業所・他職種）との連携強化による、よりニーズに沿ったケアプランの作成に努めた。
- ④担当ケース数の確保が目下の課題。経営的思考、戦略的思考により現在の危機的状況を打破する努力が求められる。

3) その他

年間平均稼働率 86.4%。昨年度に比べ横ばい状態。地域包括支援センターや医療機関のデイケア・ショートケア（医療相談員）とのより強い連携が求められる。

資料 介護系事業（ハートヴィレッチ）年間月別稼働率

月	特養	短期	(特養+短期) 加重平均	通所	居宅
4月	88.15%	93.67%	88.61%	50.71%	93.33%
5月	87.45%	60.65%	85.22%	0%	87.14%
6月	84.12%	69.33%	82.89%	29.14%	91.43%
7月	81.26%	49.68%	78.63%	40.07%	84.76%
8月	81.82%	51.61%	79.30%	37.76%	88.10%
9月	84.94%	57.00%	82.61%	38.23%	85.24%
10月	81.76%	66.45%	80.48%	47.26%	84.29%
11月	81.45%	56.67%	79.39%	42.42%	88.57%
12月	84.49%	50.00%	81.61%	40.68%	88.10%
1月	81.52%	47.10%	78.66%	40.28%	83.81%
2月	82.37%	65.00%	80.92%	51.33%	80.48%
3月	82.11%	67.10%	80.86%	54.96%	81.43%
平均	83.45%	61.19%	81.60%	39.40%	86.39%
前年実績	89.88%	98.94%	90.12%	88.47%	86.34%

(5) 福祉有償運送事業所 ハートヴィレッチ

- 1) 基本方針 「思いやりの心」の経営理念、及び社会福祉法人の責務とした公益的取り組みの趣旨に沿った事業所運営を推進した。

2) 目的 日常生活又は社会生活上の支援を必要とする要支援・要介護の認定を受けている方に対して、無料又は低額な料金で移送サービスの提供に努め、微力ながら地域福祉への貢献を果たす。

3) 主な取り組み

- ①令和2度は新型コロナウイルス等感染症の蔓延防止のため、ドライバーの健康管理、車内の衛生管理はもちろん、ご利用者の体調を事前に把握し、サービスを提供するよう感染対策を徹底した。
- ②福祉有償運送を必要とする地域の高齢者（要支援、要介護認定者）の方に対し、専任職員を配置し、そのニーズに迅速・的確に対応し、微力ながら地域貢献に努めた。
- ③無事故・無違反、徹底した安全運転により、ご利用者・ご家族が安心して利用できる環境に努めた。

4) 事業実績

	件数	収支差額 (円)		件数	収支差額 (円)
R2. 4月	11	▲10,631	10月	20	▲13,073
5月	12	▲11,328	11月	23	▲18,852
6月	8	▲5,680	12月	16	▲9,506
7月	14	▲12,082	R3. 1月	18	▲18,933
8月	23	▲16,371	2月	23	▲21,380
9月	11	▲10,535	3月	20	▲15,006
			年間合計	199	▲163,377

5. ハートヴィレッチ／行事報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行われている外部との交流会や、外出を伴う行事の実施はなし。寿司バイキング等の飲食行事は個食にて対応した。

6. ハートヴィレッチ／行事食・季節食

月	行事	月	行事
4月	海鮮ちらし寿司	10月	十五夜（月見そば） 秋の味覚御膳
5月	さつき御膳	11月	さつま芋のおやつ盛り合わせ
6月	麦とろ	12月	海鮮ちらし寿司 南瓜の小倉煮 クリスマス会食
7月	七夕そうめん 土用丑の日（うなぎ）	1月	御とそ・おせち料理 七草粥・お汁粉・小豆粥

8月	お盆精進料理	2月	福内膳・バレンタインデー
9月	重陽の節句（重陽御膳） 敬老の日祝い膳	3月	ひな祭り膳

7. ハートヴィレッチ／ボランティア・職業体験受入状況報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし

8. ハートヴィレッチ／各種会議開催状況報告

会議	内容	出席者	開催
運営会議	各部署の実績や抱える問題の提議・討議、施設で取り組む案件等、各部署の責任者に施設の方針を周知する。	施設長・副施設長その他全部署の責任者	毎月最終水曜
全体会議	各種規程・マニュアルの読み合わせや研修報告、その他直近の重要案件の周知	全職員	不定期 ※年6回程度
感染症・褥瘡対策委員会	感染・褥瘡対策及び予防について話し合う。	看護師・生活相談員・介護課長・栄養士・各フロア委員	本) 隔月第2水曜 新) 隔月第2火曜
入浴・理美容委員会	入浴及び理美容に関連して業務の効率性・安全性・快適性について話し合う。	生活相談員・介護課長・各フロア委員	本) 毎月第1火曜 新) 毎月第2火曜
食事会議	行事食や食事の安全性・味及び彩りなどについて話し合う。	施設長・副施設長・栄養管理センター長・栄養士・委託会社・介護課長・各フロア委員	毎月第3金曜
排泄委員会	ご利用者毎の排泄について検討し、清潔・省力・コストダウンを図る。	事務長・生活相談員・介護課長・各フロア委員	本) 毎月第1月曜 新) 毎月第1火曜
サービス向上・リスクマネジメント委員会	業務の改善を主な議題とし、事故発生防止の検討の他、ご利用者の処遇改善及びサービス向上につながる企画等を立案する。	生活相談員・介護課長・フロアリーダー・看護師・各フロア委員	本) 毎月第4水曜 新) 毎月第4火曜

入所判定会議	県の指針に基づき入所申込者の優先順位をつけ、入所の選定を行う。	施設長・副施設長・生活相談員・介護課長・看護師・ケアマネ	本) 毎月第1木曜 新) 毎月第1火曜
ケアカンファレンス	ご利用者毎に最良と思われる援助や処遇方針について検討する。	施設長・副施設長・ケアマネ・生活相談員・介護課長・看護師・栄養士・フロアリーダー・各居室担当	本2) 毎月第4木曜 本3) 毎月第3木曜 新) 毎月第4金曜
衛生委員会	職員の健康診断分析、職場内の巡回にて危険な作業の有無のチェック及び改善指導、腰痛予防等、衛生に関わる指導をいただく。	施設長・副施設長・介護課長・事務主任・産業医	毎月第2木曜
フロア会議	各フロアの業務について意思統一を図り、安定したサービス提供を行うよう話し合う。	生活相談員・介護課長・各フロア職員	本2) 第4木曜 本3) 第3木曜 新2) 第4水曜 新3) 第3火曜
デイ会議	デイの業務について意思統一を図り、安定したサービス提供を行うよう話し合う。	生活相談員・副生活相談員・看護職員・介護職員	毎月第2金曜

9. 事業毎の概況（エンジェルハート）

(1) エンジェルハート保育園

1) 食育

月	行事	月	行事
4月		10月	
5月	子どもの日の会	11月	芋堀り・焼き芋
6月		12月	クリスマス会
7月	野菜の収穫 クッキング（きりん組）	1月	餅つき大会
8月		2月	節分
9月	梨狩り	3月	ひな祭りの会 お別れ会（幼児会食）

※ 毎月 誕生日会を実施

四季折々の食材を使用し、栄養のバランス、料理の色彩、食材のカットサイズにまでこだわり、給食を美味しく味わっていただけるような工夫をしていった。また、毎月の誕生日会の日には普段より豪華な給食を、行事の日には行事にちなんだ見た目にもおいしい給食を提供した。

園庭の畑では、各組で育てたい野菜を1つ決め、うさぎ組はトマト、ぞう組はピーマン、きりん組は枝豆ときゅうりを、幼児全体ではさつまいもを育てた。園児が水をあげ、野菜が生長していく様子を観察することができた。7月頃には自分たちで育てた野菜の収穫を行ない、実りの喜びを分かち合った。

11月には、畑でさつまいもを収穫し、そのさつまいもと燻炭器ともみ殻を使用し、本格的な焼き芋を食べた。

2) 健康管理

年2回の内科検診・歯科検診及び、年1回の尿検査を行ない子どもたちの健康管理に努めた。また、日々の業務では、午睡中のSIDSのチェックを行ったり、食事前後や午睡前後で触診及び体温計で子どもたちの体温をこまめに測り、体調不良児の早期発見及び集団感染の未然防止に努めた。

3) 衛生管理

インフルエンザ・ノロウイルス・胃腸炎及び新型コロナウイルスの感染症拡大予防に注力。体調の悪い職員に対しては、その日は休養を与え、シフト調整して対策を行った。

新型コロナウイルス感染対策としては、アルコール消毒の励行、空気清浄機の増設、園児の登園制限、日々の体温管理等を行なった。

4) 各行事の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、行事は中止及び開催方法を変更した。園の三大大行事では、夏祭りは保護者の参加を避け、子どもたちだけで楽しんだ。

運動会はZOOMにてLIVE配信を行ない、保護者の方には画面越しで子どもたちの成長を見て頂くことができた。お遊戯会も同様にZOOMでのLIVE配信を行なったきりん組はそれに加え、保護者の方にご来園頂いて子どもたちの頑張る姿を実際に見て頂くことができた。

卒園遠足は中止にしたが、卒園式は感染対策を講じ実施することができた。感染拡大防止にも努めつつ、今後も保護者にも子どもにも喜ばれる行事を増やしていきたい。

5) 各会議について

会議は、職員会議、乳児会議、幼児会議、給食会議を行ない、それぞれ毎月定期開催している。職員会議は、職員が一致協力して保育を行なっていく上で、園運営に関する保育方針や様々な課題への対応方針についての共通理解を深める。乳児会議及び幼児会議は子ども一人ひとりに対しての接し方について検討し、その子に合った個別の対応を検討している。また給食会議では、提供した給食の喫食状況や残菜状況及び嗜好調査等のデータから、給食の改善改良について外部委託業者と検討している。

6) 年間園児数並びに稼働率

	0歳児 園児数 (稼働率)	1歳児 園児数 (稼働率)	2歳児 園児数 (稼働率)	3歳児 園児数 (稼働率)	4歳児 園児数 (稼働率)	5歳児 園児数 (稼働率)	合計 園児数 (稼働率)
2020年4月	2名 (20%)	11名 (110%)	13名 (130%)	16名 (89%)	14名 (78%)	17名 (94%)	73名 (86.9%)
2020年5月	3名 (30%)	13名 (130%)	13名 (130%)	16名 (89%)	14名 (78%)	17名 (94%)	79名 (94.0%)
2020年6月	3名 (30%)	13名 (130%)	13名 (130%)	16名 (89%)	14名 (78%)	17名 (94%)	79名 (94.0%)
2020年7月	3名 (30%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	17名 (94%)	79名 (94.0%)
2020年8月	4名 (40%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	17名 (94%)	81名 (96.4%)
2020年9月	6名 (60%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	16名 (89%)	81名 (96.4%)

2020年10月	8名 (80%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
2020年11月	9名 (90%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	16名 (89%)	80名 (95.2%)
2020年12月	9名 (90%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	16名 (89%)	80名 (95.2%)
2021年1月	9名 (90%)	13名 (130%)	13名 (130%)	17名 (94%)	14名 (78%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
2021年2月	9名 (90%)	13名 (130%)	13名 (130%)	16名 (89%)	14名 (78%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)
2021年3月	11名 (110%)	13名 (130%)	13名 (130%)	16名 (89%)	14名 (78%)	16名 (89%)	82名 (97.6%)

※ 各月初日子ども数

※ 定員 84 名 (0・1・2 歳児各 10 名、3～5 歳児各 18 名)

(2) エンジェルハート学童クラブ

1) 食育

月	行事	月	行事
4月	誕生日会	10月	ハロウィン
5月	誕生日会	11月	焼き芋 誕生日会
6月	誕生日会	12月	クリスマス会
7月	誕生日会	1月	
8月	誕生日会	2月	節分 バレンタイン 誕生日会
9月	誕生日会	3月	誕生日会

学童クラブでは、補食として15時におやつを提供している。子どもたちの嗜好するようなお菓子を200kcal目安に食感や味覚のバランスを考慮しての提供を心掛けた。毎月の誕生日会では、誕生日の子どもたちの希望するもので普段より豪華なおやつを提供した。

チョコレートやクッキーといったお菓子に限らず、焼きおにぎりや肉まん、たこやきといったような食事に近いものや、チーズやヨーグルトなど栄養価が高い食品も提供した。ハロウィンや節分等、季節に合わせたおやつを提供した。

2) 健康管理

体調の優れない子どもには自宅療養を促していった。登所中の子どもは、一人一人

の子どもの様子に配慮し、声かけや検温を行なっていった。体調不良児童には、保健室にて個別で対応したり、静養コーナーで休息をとらせるようにした。

3) 衛生管理

子どもたちに、室内に入ったら手洗いを行なう様に指導していった。新型コロナウイルス感染対策としては、常時マスク着用を励行していった。

4) 各行事の開催

新型コロナウイルスの影響によりいくつかの行事は中止になったが、ハロウィンやクリスマス会といった大きな行事は感染対策を行ないながら実施した。お別れ遠足は、手賀の丘公園へ行き、アスレチックを楽しんだ。今後は子どもにも保護者にも喜ばれる行事を増やしていきたい。

5) 各会議について

職員会議を毎月開催している。職員会議は、職員が一致協力して保育を行なっていく上で、運営に関する保育方針や様々な課題への対応方策についての共通理解を深める。また、子ども一人ひとりに対しての接し方について検討し、その子に合った個別の対応を検討している。

6) 年間児童数並びに稼働率

	1年生 児童数 (名)	2年生 児童数 (名)	3年生 児童数 (名)	4年生 児童数 (名)	5・6年生 児童数 (名)	総児童数 (名)	稼働率 (%)
2020年4月	10	9	10	3	1	33	110.0
2020年5月	10	9	10	3	1	33	110.0
2020年6月	10	9	10	3	1	33	110.0
2020年7月	12	10	10	2	1	35	116.7
2020年8月	12	10	9	2	1	34	113.3
2020年9月	11	9	8	2	1	31	103.3
2020年10月	9	9	8	2	1	29	96.7
2020年11月	8	9	8	1	1	27	90.0
2020年12月	8	9	8	1	1	27	90.0
2021年1月	8	9	8	1	1	27	90.0
2021年2月	8	9	7	1	1	26	86.6
2021年3月	8	9	7	1	1	26	86.6

※ 定員 30 名

※ 短期入所者を含む

(3) エンジェルハート保育園

一時預かり事業

1) 基本方針

パートタイム就労等を理由とする定期的な利用や、緊急に生ずる一時預かりのニーズへの対応が求められる。

育児の孤立化に伴う育児不安の増大や児童虐待の増加等に対応するため、子育て家庭を支える基盤強化を進めていく。

2) 年間児童数並びに稼働率

4月～6月は緊急事態宣言発令中に伴い、一時預かりを中止していたが、7月より再開。再開以降は例月並みかそれ以上に一時預かりをご利用頂けた。

	総児童数(名)
2020年4月	7
2020年5月	0
2020年6月	0
2020年7月	26
2020年8月	35
2020年9月	33
2020年10月	50
2020年11月	47
2020年12月	33
2021年1月	19
2021年2月	33
2021年3月	35

(4) エンジェルハート保育園 子育て支援事業

1) 基本方針

本地域における乳幼児及びその保護者が相互交流を行なう場所として、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行なっていく。

子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みを相談できる雰囲気作りを進める。

2) 年間児童数並びに稼働率

行政の指示により、4月～6月は閉所した。7月から再開し、少しずつ利用者が戻ってきた。

	総児童数 (名)	保護者数 (名)	妊産婦 (名)
2020年4月	0	0	0
2020年5月	0	0	0
2020年6月	0	0	0
2020年7月	16	14	0
2020年8月	46	39	1
2020年9月	53	37	3
2020年10月	54	42	7
2020年11月	43	32	4
2020年12月	48	38	3
2021年1月	43	32	1
2021年2月	55	42	1
2021年3月	97	61	4

(5) エンジェルハート保育園 病児保育事業

1) 基本方針

保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応や地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援する。

2) 健康管理

今年度より看護師が園児の健康管理全般を行なった。

日々の業務として、与薬管理や乳児保育を行う。また、医療経験者として保育士に医療的な指導を行なった。

また、健康カードを発行して園児一人ひとりの発育状態を管理した。毎月の手紙として保健だよりを発行開始し、家庭との共通理解を図り、保護者が子どもの健康に関心を持たせるようにしていった。

また、保育中に体調を崩した子どもは保健室にて個別で対応した。病院で診療が必要な子どもは、子どもが不安にならないように一緒に同伴した。

3) 衛生管理

子どもたちに手洗い・うがいの方法について指導していった。また、ピューラックスやマイクロテクトの用途・使用方法の説明をしていった。